

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

「原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021」のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

3 月 29 日発行のセンターだより第 28 号にてアルドステロン検査の方法変更について日本内分泌学会の指針に基づいてお知らせをしておりましたが、基準が大幅に変更となっていることにより診療時の判断に支障が出ているとのご指摘を受けておりました。

今回、内分泌学会より「原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021」が報告されましたことからお知らせいたしますので診療にお役立てください。

なお、閲覧のみとなっているため印刷後の配布が出来ないことから <http://www.j-endo.jp/>より「ガイドライン 2021」資料をご確認ください（4P 目にあります、CLEIA 法によるアルドステロン測定試薬の特徴と RIA 法と CLEIA 法の換算表の富士レビオ社の枠内を参考にお願いいたします）。

「SRL 外注該当項目」

検査項目	変更内容	新	現	備考
アルドステロン (CLEIA)	検査方法	CLEIA	RIA 固相法	
	基準値 (単位)	4.0~82.1 (pg/mL)	随時 35.7~240 臥位 29.9~159 立位 38.9~307 (pg/mL)	
	材料	血漿、血清	血漿、血清	血漿が主材料 となります。
	基準値 (単位)	2.21~39.5 (pg/mL)	随時 3.2~36 臥位 2.5~21 立位 3.6~64 (pg/mL)	

なお、アルドステロン/レニン濃度比でのご依頼の場合は、基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値とし濃度比のアルドステロンは RIA 相当値で計算し報告しております。